

令和元年度 学校評価報告等について

1 本年度の学校評価について

(1) 全体評価より

本年度の学校評価は、各項目について「4：はい，3：どちらかといえばはい，2：どちらかといえばいいえ，1：いいえ」の4点満点で評価を行った。(中間値は2.5) 職員，保護者対象のアンケートの全校平均は3.46と高い数値となった。なお，本年度から，名取が丘校が開校し，本校小学部，中学部，高等部と名取が丘校での評価を全校評価としている。

(2) 保護者評価結果より

保護者評価では，全体平均3.41と高い評価を得たが，「17：本校では，児童生徒及び職員の事故防止に向けた対処がなされていると思いますか。」では，全校平均が3.17と各評価項目の中では低い数値となった。これに受け，危機管理委員会や安全管理部などで対策を検討した。主な対策として以下に挙げる。

- ①緊急の際には，その場ですぐ救急車を要請する条件手順等を示した「マニュアル0ゼロ」を策定し，すでに実施しているところである。
- ②来年度に向け学校危機管理マニュアルの内容整理等も進める。
- ③来年度は校内で日時を予告せず短時間で行う，防災ショート訓練も取り入れ災害に対して迅速な対応がとれるようにする。

これらの内容を中心として，次年度はさらに，事故防止に努め，安全な学校づくりを進めていく。

(3) 職員評価結果より

職員評価の全体平均においても3.51と高い評価を得たが，「9：児童生徒が進んで学ぶ系統的な授業の実践がなされている」，「10：各教科を意識した指導の実践と学習評価がなされている」では，それぞれ全校平均が3.22，3.10と各項目の中では低めの評価となった。これを受け，改善を図るために，主な努力項目を設定した。

- ①ICTを活用した校務処理及び授業実践の推進（「ICTを活用した特別支援学校スキルアップ事業」の活用）。
- ②新学習指導要領を踏まえた授業づくり，授業実践，研修を重ねる。

これらの内容を軸に，日々の授業実践，研修を重ねることにより，児童生徒が主体となり，適切な指導の実践・学習評価ができるように進めていく。

2 その他（別紙：参考資料「重点努力目標の比較」）

今年度は学校評価全体会として，今回の学校評価・反省を踏まえた学校重点努力目標の具現化に向けた話し合いを行った。次年度の重点努力目標は，それらの話し合いの内容を生かした目標となっている。